

# 《まめ知識》



## 生分解性プラスチック

2008年12月

植物のデンプンから作られ、土の中で分解される“生分解性プラスチック”という材料について、以前、『とうもろこしのプラスチック』で紹介しました。

生分解性プラスチックの利点は、“廃棄後も分解されるので残らない”ということと、“石油を節約できる”ということですが、さらにもう一つ、医療品素材として素晴らしい利点があります。従来、手術用縫合糸や骨折固定材など身体の中で使われる医療品は、普通のプラスチックや金属などで作られており、それを取り出す手術や抜糸を行わなければならず、患者に負担がかかっていました。

しかし、従来品の代わりに生分解性プラスチックを素材とした医療品を利用すると、プラスチックが少しずつ身体の中で分解されてなくなります。そのため、抜糸や手術を行わずに済むのです。これは驚きですね！  
まだ、多くは利用されていないようですが、今後利用が拡大すると助かりますね！

Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号  
TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)